



キタテハ

# 見沼自然散策

2026.3.14



ワグシ

見沼たんぼ地域ガイドクラブ



コブシ



ハクモクレン

←山に春を告げるコブシの花は外を向いて咲く  
ハクモクレンは上向きの花をつける

→アセビも咲き始めた。毒があつて、馬が食べるとふらつくことから馬酔木と書く



アセビ



モズ

春が近づくと、鳥たちは恋の季節。ウグイスはホーホケキョと鳴き、ホオジロは「一筆啓上仕り候」。モズはほかの鳥の声をまねて雌の気を引く

一方、羽の色を変える鳥も。アオジのオスは目の周りを黒くしてメスへアピール。



ホオジロさえずり



アオジ



キイロテントウ



ナナホシテントウ

テントウムシは成虫で越冬する。  
ナナホシテントウは春早くの暖かい日に出てくるので春を告げる虫として好まれる  
キイロテントウは植物につくカビを食べる

ウラギンシジミも成虫越冬葉の裏などでじっと動かずに冬を過ごす。



ウラギンシジミ



オオイヌノフグリ



ヒメオドリコソウ

春一番に花をつけるのは青や紫の花。光の波長が長い色で遠くから虫に見つけてほしいから。  
オオイヌノフグリはほかの草が伸びる前に青いじゅうたんを広げる。  
ノボロギクはアスファルトの隙間から伸びて花をつける



ノボロギク

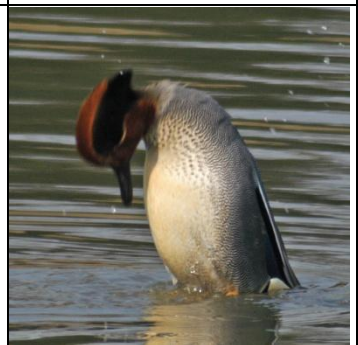


ヒドリガモのうんち

コガモのオスがメスの周りをぐるぐる回り、目の前で立ち上がってそのあとぐいっと尾をあげてクリーム色の部分を見せつけるこれはメスへのアピールで北の国に帰る前に相手を見つけておきたいオスの行動



コガモ



ディスプレイ

